

情報入力シート＜病院情報＞

病院ロゴ		
病院名	大分医療センター薬剤部	
薬剤部科URL	https://oita.hosp.go.jp/section/402_yakuzaibu.html	
キャッチコピー	「愛の心・手」で、病める人々に寄りそう医療を基本理念とし大分県東部地域の救急・入院診療の中核を担う病院での薬剤師業務を学べる病院	
学生へメッセージ	大分医療センター薬剤部では、医療安全への積極的関与、病棟薬剤業務の推進、病院経営への貢献、医薬品の適正使用と薬物療法への貢献などを目標に掲げ業務を行っています。各種チーム医療にも積極的に参加しており、がん、感染症、栄養といった分野の専門性をもった薬剤師が関与しています。	
プロフィール	当院は大分県の中部に位置し、別府湾に面した海辺にあり、当院北側の隣接海岸には緩衝緑地地帯の造林が東西に延び、南に久住山西に高崎山などの九州の山並みが連なり、北に国東半島を眺め、東に佐賀関、晴れた日には遥かに四国を望むことができ、環境は格別なもので療養に最適な地にあります。大分県地域医療支援病院の承認を受け、医師会と救急隊との合同学習会の開催やかかりつけ医の連携強化を推進しています。また大分県がん診療連携協力病院として5大がんである胃癌、大腸癌、肝癌、乳癌、肺癌を中心にその他前立腺癌などの悪性新生物の集学的治療を行っています。大分市2次救急医療固定型輪番制（365日、24時間体制）の指定も受けており大分県医師会と連携した毎月2回(日)の在宅当番医制に参加し、一次・二次救急医療、さらに高規格救急車の指示病院の指定を受け救急医療に積極的に取り組んでいます。 薬剤部が目指すのは、単に薬の専門家として留まることではありません。私たちは、医療安全への積極的な関与を最重要課題とし、病棟薬剤業務の推進を通じて、患者さん一人ひとりの安全を確保しています。 また、がん、感染症、栄養療法といった各分野に専門性を持つ薬剤師が、多職種連携のチーム医療に深く参画しています。医薬品の適正使用と薬物療法の最適化に貢献し、病院経営にも寄与することで、医療の質の向上と持続可能な医療体制の構築を目指しています。	
連絡先	097-593-1111	
アクセス	JR日豊本線大在駅より1.1km タクシーで約5分 徒歩で約15分 大分自動車道宮河内インターより10.5km 車で約15分	
診療科目	17診療科 【内科系】糖尿病代謝・内分泌内科、腎臓内科、膠原病内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、呼吸器内科 【外科系】外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、泌尿器科、婦人科 【外科系・内科系以外】放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科	
病床数	一般300床（休床15床）	
病院の特徴	地域医療支援病院、大分県がん診療連携協力病院、災害派遣医療チーム大分DMAT指定病院、がん・肝診療・救急医療（救急告知病院）、地域医療・オープンシステム（開放型病院）、臨床研修指定病院	
アピールポイント	20代から30代の若手スタッフが中心となって活躍しています。年齢が近いスタッフが多いので、互いに気軽に相談したり、助け合ったりする文化が根付いており、活気にあふれた明るい雰囲気が自慢です。	
研修施設		
薬剤師数	11人	
薬剤師構成	(男女比) 男性：8 女性：3	年齢構成 20代2名 30代7名 40代2名
認定資格・数	日本臨床腫瘍薬学会外来がん治療認定薬剤師 2名 日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師 1名 日本臨床栄養代謝学会NST専門療法士 1名 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 4名	
臨床研究実績	国立病院総合医学会 1 演題	
チーム医療活動	栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、感染制御チーム、抗菌薬適正使用チーム、がん化学療法	
院内保育園（連携含）	☒ 有 ☐ 無	